

このたび、我々30名の議員の任期最後の議会が開催されました。

平成17年の3月にスタートした現在の柳川市ですが、早いもので6年目となります。当初53名だった議員定数も前回の平成18年の選挙で30名となりました。市長も石田市長から金子市長へと変わり、金子市政も2年目となります。

何度もこの議会報告でお伝えしてきたとおり、柳川市は国から与えられた10年間の優遇措置期間のなかで、いかに健全な財政基盤と都市基盤を確立していくのかが大きな課題です。その課題解決は、その10年間の残り4年半にかかっています。

今回の議会では、その10年間の折り返しである平成21年度会計の決算をはじめ20の議案が審議されました。そこから見えてくる課題、これからの柳川市の展望など織り交ぜてご報告いたします。



柳川市議会議員
佐々木創主

佐々木創主議会報告（29号）

平成22年第4回定例議会 会期：8月24日～9月13日

○平成21年度決算が認定されました

平成21年度の一般会計と国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、下水道事業、住宅新築資金、公共用地先行取得の6つの特別会計、および水道事業会計の決算が、それぞれ所管の委員会で審査され、最終日の本会議採決で認定されました。

平成21年度各会計決算の状況

(単位千円)

		歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度へ繰越	実質収支	負債残高
一般会計		29,154,976	28,071,656	1,083,320	188,279	895,041	31,978,643
特別会計	国民健康保険特別会計	9,551,184	9,483,759	67,425		67,425	
	老人保健特別会計	30,588	31,423	-835		-835	
	後期高齢者医療特別会計	783,653	779,970	3,683		3,683	
	住宅新築資金等特別会計	18,851	16,158	2,693	0	2,693	8,346
	公共用地先行取得特別会計	0	0	0		0	
	下水道事業特別会計	1,136,621	1,071,527	65,094	0	265,094	8,315,344
合計		40,675,873	39,454,493	1,221,380	188,279	1,033,101	
企業会計	水道事業会計	収益的収支	1,294,765	1,156,420	138,345		4,619,324
		資本的収支	324,760	880,297	-555,537		

◇一般会計決算

一般会計決算は、私の所属します総務委員会委員とその他委員会から2名ずつで構成される決算審査特別委員会（14名）で審査されました。

まず、決算の総額から見てみますと、歳入総額291億5497万6000円、歳出総額280億7165万6000円で、差し引き10億8331万円となり、翌年度への繰越（1億8827万9千円）を除いた実質収支は8億9504万1千円の黒字決算となっています。

20度に比べ全体額が大幅に増えていますが、これは一昨年来の金融危機による国の経済対策事業7億円、定額給付金11億円、その他景気低迷による地方の税収不足を補うため地方交付税を増額したことなどによるものです。

歳入の主なものは、市税が全体の22%、地方交付税が31.4%、国・県支出金が27%、地方債(市の借金)が

7.1%となっており、半分以上を国県からの交付金に頼っています。

昨年の金融危機の影響で、市税は約2億円の減収となり、特に法人税は前年度に比べ5500万円(12.9%)も落ち込んでいます。

歳出は、人件費が職員数(10名)減少などにより1億6千万円の減少している半面、補助費が定額給付金、扶助費が生活保護費の増加(1億円)・後期高齢者医療費給付費増加(1億円)、建設事業が国の経済対策給付金関連事業と、いずれも増加しています。

	歳入					歳出					
	平成21年度		平成20年度		増減	平成21年度		平成20年度		増減	
	決算額	構成	決算額	構成		決算額	構成	決算額	構成		
市税	6,425,169	22.0%	6,653,324	25.1%	-228,155	人件費	4,729,955	16.9%	4,898,225	18.8%	-168,270
地方交付税	9,163,489	31.4%	8,744,337	33.0%	419,152	物件費	2,852,513	10.2%	2,764,140	10.6%	88,373
その他交付金	1,253,606	4.3%	1,276,018	4.8%	-22,412	維持補修費	142,579	0.5%	140,649	0.5%	1,930
分担金及び負担金	422,523	1.4%	437,258	1.7%	-14,735	扶助費	5,448,684	19.4%	5,246,178	20.2%	202,506
使用料及び手数料	350,631	1.2%	355,207	1.3%	-4,576	補助費等	3,010,982	10.7%	1,863,022	7.2%	1,147,960
国庫支出金	5,567,268	19.1%	3,637,263	13.7%	1,930,005	公債費	3,592,221	12.8%	3,423,717	13.2%	168,504
県支出金	2,332,443	8.0%	2,173,186	8.2%	159,257	積立金	372,864	1.3%	454,841	1.7%	-81,977
繰入金	279,313	1.0%	136,000	0.5%	143,313	投資及び出資金等	440,803	1.6%	354,151	1.4%	86,652
繰越金	426,846	1.5%	382,206	1.4%	44,640	繰出金	2,782,750	9.9%	2,628,635	10.1%	154,115
市債	2,080,096	7.1%	1,864,700	7.0%	215,396	普通建設事業費	4,554,806	16.2%	4,059,411	15.6%	495,395
その他	853,592	2.9%	799,748	3.0%	53,844	災害復旧費	138,996	0.5%	195,469	0.8%	-56,473
合計	29,154,976	100%	26,459,247	100%	2,695,729	合計	28,067,153	100%	26,028,438	100%	2,038,715

△ 柳川市の財政状況について

冒頭の決算の状況の表にあるように負債残高(借金)の総額は440億円に対し、下の表の通り基金(貯金)は100億円しかありません。如何に借金を減らしながら、公共サービスを行っていくのか大きな課題です。

地方自治体の財政状況を判断するための材料として、経常収支比率、財政力指数、公債費負担率がありますが、柳川市は経常収支比率：90.9(平成20年度93.1) 財政力指数：0.48(0.5) 公債費負担率：17.9(18.2)で、それぞれの目安から言うと厳しい財政状況といえます。

また、夕張市の財政破綻を受け、危機的状況を回避するための指標として昨年より地方財政健全化判断比率が導入されましたが、国の定めた基準をクリアしています。もし、その基準を超えると財政健全化計画を策定したり、更に悪化した場合は夕張市のように国の管理下におかれることになります。

△ 主な基金(貯金)の状況

名称	H20末現在高	積立額	活用額	H21末現在高	活用内容	
財政調整基金	3,551,584	230,753	0	3,782,337		
減債基金	988,349	1,913	0	990,262		
柳川地域振興基金	700,483	2,973	80,000	623,456	城内小校舎改築	60,000
					柳河小プール建設	20,000
大和地域振興基金	509,757	2,017	8,000	503,774	漁業団地建設	8,000
三橋地域振興基金	1,492,527	6,434	80,000	1,418,961	駅東部区画整理事業	80,000
一般廃棄物処理施設基金	527,828	2,049		529,877	駅東部区画整理事業	60,000
まちづくり振興基金	2,592,274	124,926	105,009	2,612,191	生活対策臨時交付金事業	105,009
ふるさと元気応援基金	4,976	1,799	1,496	5,279	小中学校図書購入	997
					スポーツ備品購入	499
合計	10,367,778	372,864	274,505	10,466,137		

△市税などの徴収一元化を

昨年もご紹介しましたが、厳しい財政状況のなか、いかに無駄を省き効率的な行政運営を行うかが重要ですが、同時にいかに収入を確保するのかということも重要な課題です。

景気低迷により、市税などの支払いに困っている方々も増えていることも確かですが、**支払い能力があるのに払わないといった悪質なケース**が後を絶ちません。そういった方々は、市税をはじめ水道料や健康保険税といったものから市営住宅使用料、保育園保育料といったものまで**いくつも滞納**する場合があります。

その**徴収業務**はそれぞれの担当課で**バラバラ**に行っており、本来業務にも差し支えが出ています。現在柳川市では収税対策課を設置して市税に関して悪質なケースは差押えなども行っており、成果を上げています。したがって、市税だけではなく他のものについても、この**収税対策課に一元化**することにより**徴収業務が効率化**され、**収納率が上がる**ことが期待されます。

そこで、私は早急に収納の一元化を検討すべきとしましたが、執行部は「徴収業務は職員の精神的な負担が大きい」という生ぬるい答弁でしたので、再度一元化を強く求めました。さて、民間に比べ市にはまだまだ厳しさが足りないようです。

○平成22年度一般会計補正予算（第3号）が賛成多数で可決しました

今回の補正で12億709万8千円追加され、**予算総額は304億9163万41千円**となりました。

今回の補正で最も大きなものは、**市債（借金）のうち年利2%以上の総額5億3236万6千円を一括償還**するものです。このことにより**2500万円の利息が節約**できることとなります。

また、平成21年度の決算の剰余金のうち2分の1の4億5005万円を財政調整基金に積み立てを行います。

その他の主な事業

- ・二ツ河保育園乳児室整備 2240万11千円（補助率：県1/2、市1/4）
- ・大和カントリーエレベーター乾燥施設・集排塵施設改修費 3703万2千円（補助率：県1/2、市1/4）
- ・災害復旧事業（6月25日～28日、7月11日～14日の豪雨災害）
 - 農業施設（水路等）：1億116万5千円（柳川16か所、大和2か所、三橋4か所）
 - 道路：4127万円（柳川4か所、大和1か所、三橋1か所）
- ・西鉄柳川駅前イルミネーション事業補助金（柳川市商工会） 100万円
- ・漁港漂着物回収・処理事業 175万円 関係漁協：大和・中島・皿垣開、山門羽瀬・両開
- ・公民館建設費補助金 478万円 両開地区東ノ切西、西ノ切東、寿硯（補助単価1万5千円/㎡）
- ・どろつくどん用具補修費補助金 6万7千円 銅鑼新調のための費用の1/2の補助金

○市営住宅管理条例の一部改正

少子高齢化が進み、市内の小中学校でも年々生徒数が減少しています。特に中山小学校は、生徒数が43人、1年生は3人であり、来年には二つの学年の生徒が同じ教室で授業をする複式学級になることが予想されています。そこで現在建設中の中山市営住宅の入居世帯50戸のうち20戸を、小学生以下の子供達がいる世帯に優先的に入居させようとするものです。

○大牟田市との定住自立圏協定を可決

定住自立圏とは、少子高齢化が進むなか、特に地方都市では人口流出と更なる少子高齢化が心配されています。そのなかで、地方において複数の自治体で**中心市**の都市機能と**周辺市**の農林水産業、自然環境、歴史文化といった**それぞれの魅力を活用**し、相互に役割分担し、連携・協力することにより、**圏域全体で必要な生活機能を確保**し、**地方圏への人口定住を促進**させようとするものです。

今回、柳川市は大牟田市と定住自立圏の協定を結ぶことになりました。

定住自立圏の中心市の条件は、**周辺地域からの通勤通学があり昼夜間人口の比率が1以上の市**ということですが、この地域で中心市の条件を満たすのは大牟田市で、大牟田市は柳川市以外にみやま市とも協定をむすぶこととなります。

協定内容

協定内容は、福祉、教育・文化、産業振興、地域公共交通、人材育成、圏域内外の住民との交流・移住の促進

といった分野で15の項目となっています。

具体的な内容は、重要港湾三池港を活用した産業振興、国立有明高専との交流事業を実施し産学官が連携し中小企業の振興を図るといったものから、圏域内の図書館利用、大牟田文化会館を活用した文化の向上、鳥獣害防止といった果たして**効果があるのか疑問**に思うものもあります。

柳川市が中心となるものには、今回大和公民館に設置された**結婚サポートセンター**の範囲が広がること、**観光**面では柳川が中心になり大牟田市、みやま市と連携し、観光の広域化と多様化が期待できるといったところです。

心配

大牟田市が中心市であり、大牟田市に利用されるだけではないか、この定住自立圏が、いま議論されている道州制に移行する場合次なる合併の布石ではないか、といった心配の声が上がっています。

私も同感であります。しかし考えてみると昭和30年代には新産業都市というものがあり、大牟田市を中心に柳川市も大牟田市と協定を結んでいましたが、この新産業都市はほとんどその成果を上げず、いつのまにか消えてしまいました。そして、その中心市であった大牟田市は現在では過疎地域に指定されるといった状況です。

今後

この協定内容の中には、大牟田市にある三池港、有明高専など活用すべき魅力もあり、広域観光、歴史文化を生かしたまちづくりなど柳川市が拠点として飛躍できる可能性も秘めています。

更に、この制度の中心市の要件には不備があることも指摘されており、今後の動向によっては柳川市が大牟田市、みやま市以外に大川市、大木町を巻き込んで中心市として存在感を高めることも模索すべきだと思います。

○次の4年間の議会構成

10月3日に行われる選挙で、市議会の定数は現在の30人から24人となることにより、委員会の構成人数も変わります。常任委員会、総務、産業経済、建設、教育民生がありますが、その定数も現在の7~8人から6人へと変わり、議案の提案や動議に必要な人数などが変更されます。

○市議会の責任の重さ

塩塚川、沖端川は有明海の干満の影響で泥土が堆積し、漁船の航行に支障があるため、毎年浚渫事業が行われています。この浚渫事業は、沖端川は県の事業ですが、塩塚川は市が県の補助(7割)を受け1億円を投じて行っています。

ところが、国は財政状況の悪化を理由に、補助金の交付を5年に1回にし、来年から4年間は交付しないと通達してきました。しかし、1億円もの事業費を柳川市だけで負担することは、今の財政状況から言って難しい状況です。だからといって浚渫を止めれば、有明海の干満の影響で1年で大量の泥土が堆積し、船の航行に大きく支障が出てしまい、海苔養殖をはじめとする漁業全体に大きな影響を与えてしまいます。

そこで今回、塩塚川関係の有明、皿垣、柳川、両開の4漁協から、今後の浚渫事業の継続の請願が提出されましたが、この請願を審査した産業経済委員会では継続審査との結論でした。継続審査というのは、更に慎重に審議する必要があるということで、次の定例会まで持ち越されることです。ただ、私達の任期は10月20日までで、その日を持って請願自体が効力を失い、実質上の不採択ということです。しかし、こういう案件はさまざま結論を出し、議会の意思を示し執行部の後押しをすべきものです。

そこで私は、これだけの重要かつ緊急性の高い案件を継続審査としてしまうことは、市議会としての責任と信頼が問われることになるわけで、今議会で結論を出すべきとしましたが、結局、継続審査という結果で終わりました。しかし、議長からは産業経済委員会の正副委員長に10月20日の任期までの間、再審査が要請されました。果たして、再度協議をしてくれるのか、その見識に期待したいと思います。

残された期間は4年半 柳川待ったなし！！

市町村合併の目的と意味

平成15年当時3200あった全国の市町村が現在では1700になりました。借金にあえぐ国は地方への支出を抑えるため、市町村の数を減らす目的で、平成の大合併を押し進めました。

そして、合併する自治体には借金をしても後で7割を還付する合併特例債というアメ、合併しない自治体には地方自治体の税収不足を補うため国が交付する地方交付税を大幅に減らすというムチを課しました。

従って、農漁業が基幹産業で地方交付税に大きく依存している多くの地方自治体が合併へと走りました。

ただ、財政規模が拡大したことにより駅東部区画整理事業（90億円）、漁業団地（50億円）密集住宅市街地整備（25億円）といった大型事業を同時に行うことができるようになったのも事実です。

柳川市の現状

平成21年3月21日に1市2町が合併してできた柳川市ですが、合併特例債は10年間で137億円活用できます。また、地方交付税は合併したことにより12億円の加算を受けていますが、これも10年間の期限付きです。

また人口減少は地方にとって大きな課題ですが、柳川市も同様、合併当初は約76,000人であった人口が5年経ったいまでは約72,000人になりました。5年間で4千人減ったこととなります。このまま行けば5年後の平成26年には68,000人に、10年間で8,000人も減ってしまうということになります。

人口が減るということは、地域の活力が失われていくと同時に市の税収が減少するという事です。5年間で4千人減って市民税は2億円減りました。このままいくと平成26年には当初より8千人減って4億円も税収が減ってしまうということになります。

平成26年までにやるべきこと

行財政改革

地方交付税12億円の加算は10年間の期限付きで平成26年までです。その後は厳しい時代が到来するということとなります。したがって、大胆な行財政改革を断行しなければなりません。まず人件費はこれまで5年間で職員数は約50人、議員数は53から30となり、7億5千万円が削減されました。また、消耗品や光熱費、旅費といった物件費は約2億円節減を行いました。一層の経費節減が求められます。更に、国の事業仕分けではありませんが、市が行う様々な事業を洗いなさなくてはならないと思います。そして何より、庁舎の1元化が喫緊の課題です。柳川、大和、三橋の3庁舎を1元化できれば年間3億円近くの経費を削減することができます。

都市基盤整備

地方交付税の加算、合併特例債の活用できる平成26年度までに何を行うのが重要です。必要な事業をリストアップし、投資可能額250億円で、何を優先的に実施しなければならないのかが問われるべきですが、市の示した予定事業には、市庁舎の1元化、大型改修が必要な市民会館、耐用年数にきているゴミ焼却場、そして柳川駅東口駅舎建設などの費用は盛り込まれていません。

求められる議会の姿

そこで、議会はこれまでのように執行部からの提案を待つのではなく、次のようなプロジェクトチームを編成し行政を突き動かすような力量が求められると思います。まず、市庁舎1元化をはじめ今後の投資事業を緊急性、必要性から優先度をつけ実行させる。次に、更なる職員数・議員定数の削減、事業仕分で大胆な行財政改革を行い20億円の財政削減。

柳川市の抱える課題

財政の健全化、都市基盤整備はもとより、柳川市は様々な課題を抱えています。

基幹産業である農漁業の振興、少子高齢化、人口減少対策と福祉対策といった構造的な問題から秋以降度々起こる水不足の問題など山積しております。

水不足については、日向神ダムが洪水対策のため6月から9月まで貯水量を極端に減らしていることが大きく影響しています。しかし、建設当時の昭和35年に比べ気象予測精度・速度も格段の進歩があり、その間も極力貯水することは可能な時代です。また、土地改良事業で掘割の構図が変わり、また水の配分の不均衡も明らかになりつつあります。先人が築き上げた、少ない時は少しずつ分かち合い、多い時は少しずつ被りあうというモタセのシステムを再構築しなくてはなりません。

目指すべき姿

柳川に住みたくなる景観づくり

全国的に歴史文化に根差したその町しか持ちえない魅力を生かし、再構築し街並みを整備し、人口の呼び込みと観光振興が盛んに行われています。

柳川は、まさしく歴史文化の街であり、水郷であり、他の地域が羨む魅力を持っています。安らぎを覚える街並みと景観、水と緑にあふれ歴史文化の香りのする景観づくりが必要です。それが、そのまま良好な住環境になり、それは私達の大きな誇りとなります。同時に他の地域からの人の呼び込みにつながると思います。

目指せ筑後南部の中核都市

柳川市だけを内向きに見るのではなく、広い視野から見たとき、柳川を中心に放射状に延びる有明海沿岸道路、国道 443 号バイパス、385 号バイパス。東には九州自動車道と九州新幹線、西には佐賀空港、南には三池港、北には長崎自動車道、全てが車で 30 分圏内となります。

柳川市は筑後南部の高速交通体系の中心地となります。この地の利を生かさない手はありません。長期的視野に立って、人と物が柳川市を中心に動く筑後南部の中核都市を目指す都市戦略を描き、実施する時だと思えます。

冒頭申し上げた通り、柳川市は合併以降 6 年目となりました。

市長は石田氏から金子氏へと変わりました。

市議会も当初の 53 名の議員から、平成 18 年度からは 30 名となり、10 月からは 24 名になります。最初の 4 年間は、石田市長および市長派議員と反市長派議員の対立と混乱の 4 年間と言っても過言ではありません。その話題も、ピアス問題、全日本同和会補助金問題という大和町の問題に始まり、昨年には前議長の事件、議長交代、政治倫理条例違反問題などなど混乱が続きました。

柳川市の将来を見据えた議論は取り残されたままでした。

そして金子市政に変わっても以前からの問題は後を引いたままですが、市長のマニフェストの是非も含め、将来に向けた議論がなされるようにもなりました。

地方自治体は国の指導のもと行政運営をしてきました。その国と地方の在り方が問われるようになりました。しかし政権も変わりましたが、その国自体が混乱しています。苦悩しています。景気低迷も抜け出せずにいます。

地方自治体は、国の動向に大きく影響を受けます。しかし、その国自体が苦悩しています。これまでのように受け身である時代ではないと思えます。地方が、柳川市が自らの意思を持ち行動する時代です。国にものを申し、突き上げる時代です。

そんななか、昨年からは柳川市が行う事業の効果・是非を審査する市民からなる外部評価委員制度が導入されています。これは、本来議会が果たすべき役目であり、議会としては恥ずべきことです。

これまでのように議会は受け身ではなく、行財政改革、都市基盤整備、様々な課題、将来への展望を積極的に議論し、方向性を出して執行部を突き動かすくらいに意思と力量を持たなければならない時代だと思えます。同時に市民の皆さんにも積極的に情報を開示し、同じ目線で考える場も必要だと思えます。

思いは尽きませんが、最後にこれまで支えていただき、叱咤激励、ご指導いただいたことに深く感謝申し上げます。

平成 22 年 9 月 14 日

柳川市議会議員

佐々木創主

柳川市新外町 1 1 9-2

TEL : 0944 - 74 - 1907

FAX : 0944 - 75 - 6058

e-mail:soshu.s@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/soshu/>